

# 台湾キドクガにご注意！！

神原小学校でも、台湾キドクガの幼虫による被害が発生しています。よく読んで、被害にあわないよう、気をつけてくださいね。

☆台湾キドクガの幼虫は1～2cm程度で、背中のオレンジ色の線と黒いコブが特徴（写真1、2）です。成長の途中で色や形が少しずつ変わることもあります。雑食性ですが、クワディーサー（モモタマナ、コバテイシ）の葉で多く見られます。

☆直接幼虫に触れなくても、その毛（毒針毛）が飛んで触れることにより皮膚炎をおこすことがあります。

写真1. 台湾キドクガの幼虫



写真2. 台湾キドクガの幼虫



## 【毒蛾皮膚炎の起こり方】

台湾キドクガの幼虫はからだに毒針毛（どくしんもう・写真3）という0.1mmほどの目に見えない毛が無数にあり、幼虫に直接ふれたり、風で飛んできた毒針毛に接触したりすることで皮膚炎を発症します（写真4）。毒針毛は幼虫だけでなく、卵、幼虫の脱皮殻、さなぎ、成虫（蛾）にもあり、触ると刺されます。

写真3. 台湾キドクガの毒針毛



写真4. 紅斑（ほっしん）の様子

## 【皮膚炎の症状】

かゆみや紅斑（赤いブツブツ）などの症状が現れます（写真4）。チャドクガの症例によると、皮膚に接触した後すぐにかゆみ、ぶつぶつなどが生じる場合と、その1～2日後にかゆみの強い紅斑や丘疹が生じる場合があります。これらの症状には個人差があり、片方だけ起こる人や、全く症状が現れない人もいます。

この時期、台湾キドクガの毒針毛が、風といっしょに、舞っているようです。できるだけ、木には近づかないでくださいね。



## ～ 予防・応急処置 ～

☆ 発生している場所に近づかないことです。

やむを得ず近くで遊ぶ、作業をするときは、長袖や長ズボンなどを着用し、**できるだけ皮膚の露出をおさえます**。着用した衣服には毒針毛が付着している可能性があるため、作業後はよく洗濯しましょう。

☆まず、**粘着テープを、かゆい場所やその周辺に、張ったりはがしたりして毒針毛を取り除きます**。来ていた服も粘着テープを使って毛を取り除くとよいです。

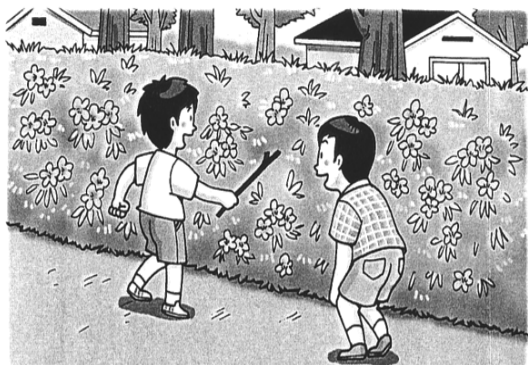
☆次に石鹸をつけてよく洗い流します。

☆かゆみなどを感じても**絶対にかかない**でください。かくと毒針毛で皮膚をこすることになり、症状が広がります。

☆ 症状が軽ければ、市販の抗ヒスタミン軟膏を塗り、かゆみや紅斑がひどければ、病院の皮膚科で診てもらいましょう。

毒毛どくげがつくと、ブツブツあかと赤くはれ、かゆくなります。ひどい時は、全身ぜんしんに広がります。

もし見つけたら？



木をゆらしたり、枝や棒などで払い落とさない。幼虫や毒毛が体につく原因に。



殺虫剤を使用したり、踏んで退治しようとせず、すぐ先生やおとなに知らせる。

応急手当



毒毛は、ガムテープなどを使って、数回やさしくとる。



こすらずに、シャワーや、流水でよく洗い流す。



かゆみがでた時は皮膚科に行き治療してもらおう。